

## 全国知事会長記者会見概要 (オリンピック推進本部設置、安倍内閣改造)

日 時：平成26年9月4日(木) 18:40～19:00

場 所：都道府県会館6階 知事室

### (山田全国知事会会長)

本日は2点ございます。1点目は先程、全国知事会の2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部の設置を正式に決めました。これは以前、私が東京都庁を訪問した時に舛添知事と話をしておりまして、舛添知事から7月に佐賀県で開催された全国知事会議で提案をしていただき、今回の設置に至りました。都道府県側からいたしますと、この東京オリンピック・パラリンピックを日本中の都道府県が力を合わせて成功させたい、そのためにしっかりと支える組織をつくりたいということがあります。また、来られる方からすると、おそらく文化面も含めて、東京オリンピック・パラリンピックの期間中、東京以外の日本の各地へも足を運んでいただけます。その時にきちんとした情報提供ができなければ、せっかく来られた方も混乱をしてしまうという面もあると思います。また、組織委員会側からいたしますと、これから地方公共団体の協力を得なければならない場面がかなり出てまいります。例えば合宿地などの斡旋でありますとか、文化関係の事業をどういうふうにやっていくかといったような提案・要望ですとか、こうした点もありますので、組織委員会側からもそのような要望があったということで、両者の意向が合致して、今回の推進本部の設置になりました。私も、先日は組織委員会の武藤事務総長、そして今日は森会長にもお話をし、このことを申し上げてまいりましたけれども、森会長も大変喜んでいただきまして、是非とも1度顔を出したいというお話もございました。それは今後の話になると思いますが、今日の推進本部の設置を機に、全国の都道府県が力を合わせて東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けてしっかりと取り組んでいくという確認が今日はできたのではないかと考えています。これが1点目です。

2点目は、昨日、内閣改造がありまして、その目玉として、地方創生ということが取り上げられております。実は、このオリンピックの推進本部準備会議の前に石破地方創生担当大臣や高市総務大臣のところを回ってまいりましたけれども、特に石破大臣とお話ししたのは、やはりこの地方創生については地方としても期待をしている。なかなかアベノミクスの効果が地方まで行き渡らない中、逆に人口減少問題をはじめとして地方の抱えている大きな問題点が浮き彫りになってきている。こうした時に、地方が未来に向かってビジョンを持って進んでいけるような体制が必要だということを申し上げました。安倍総理にも先日、少子化非常事態宣言をお渡しし、少子化対策、東京一極集中の是正、地域経済対策、これが地方にとっては三本の矢として重要になってくるということを申し上げたところでありまして、その点からも今回の地方創生を旨とした内閣改造を全国知事会として心から歓迎いたしますし、石破大臣に対して大変大きな期待をしているところであります。1つ心配を申し上げますと、概算要求を見ますと、各省庁の関連の補助金が並べられただけといったような雰囲気があります。我々が一番期待しておりますのは、創生本部を中心に、しっかりと地方のこれからのビジョンを示していただき、そこに国が縦割り

ではなく、中長期的な課題と、短期的な課題とに分けて、しっかりとした対応をしていただくことです。特に少子化や東京一極集中、地域経済などの問題について、統一した形で、地方との連携のもとにやっていただくことが欠かせないと思っております。石破大臣からも、創生本部を中心としてコンセプトを持って取り組んでいきたいというお話がございましたので、これまで以上に連携を密にして、日本の未来のために、それらの問題を解決できる流れをつくっていききたいと思っております。私からは以上です。

**(記者)**

オリンピックの推進本部について確認ですが、今日の準備会議をもって今日付で成立という理解でよいか。

**(山田全国知事会長)**

はい。それで結構です。

**(記者)**

今後ですが、この推進本部はどれくらいの頻度で会合を開いて、具体的に例えば手始めにどういうところから活動していくのかというイメージは。

**(山田全国知事会長)**

できれば組織委員会や東京都と連携して、今日も組織委員会からいくつか提案をいただいておりますので、会議を開くことが目的というよりは、この知事会の本部会議を通じて組織委員会から各都道府県に組織委員会として必要なことをお願いして、それをまた集約して返していくという、当面は連絡調整などの役割を担っていくことが主体になると思います。

ただ、大会の準備などが本格的になってくると、具体的な、例えば文化行事のあり方だとか、合宿地の選定だとか、そうしたことが出てくると思いますので、その前には大きな会議を開いて、森会長や武藤事務総長にも来ていただいて、そこできちんとした話をしていく、という形になると思います。

当面は連絡調整を主体として準備を進めていきます。

**(記者)**

地方創生に関してだが、今会長が心配な面があるというお話をされたが、それについては石破大臣との会談の中でお話しされたのか、もしされたとしたら、それに対して大臣がどのようにお答えになったか。

**(山田全国知事会長)**

その話はしました。大臣がおっしゃったのは、いわゆるホッチキスでとめるようなものではなくて、創生本部としてしっかりとこれからの地方の創生というものについてビジョンを描いてつくり上げていきたい。各省庁が持ってきたものをホッチキスでとめるようなことはしない、というお話をされておりました。

私どもも、中長期的なもの、短期的なものを含めて、しっかりと六団体をはじめ地方との連携をお願いしたいということを申し上げました。

(記者)

縦割りの補助金の問題だが、会長としては財政面の手当としては、どのような形が望ましいとお考えですか。

(山田全国知事会長)

別に補助金が悪いといっているわけではなくて、例えば少子化問題にも、様々な局面があるわけですし、それは厚生労働省だけではなく、内閣府や、経済産業省や、国土交通省などの問題もありますので、それらを統一的に、しっかりとしたビジョンで出させていただかないと、対策がバラバラになって出てきたのでは、地方も混乱してしまいます。しっかりとしたビジョンとそれに対する体系的な施策を作り上げていただかないと困ります。もちろん我々も財源が必要ですが、財源の問題だけではなく、もっと大きな構造改革、例えば東京一極集中を是正するのであれば、その問題に対して大きな観点からの対策も必要ですので、そういったものはやはり国の役割ですから、こうした点も含めて全体像をまとめていただきたいと思います。この補助金が悪いとか、基金のほうがいいとかいうのは、それぞれ施策の体系の中で割り振りが出てくると思いますので、それを否定するわけではないのですが、今はバラバラに出てきているので、このままですと地方は混乱するだけです。そして同時に、中央省庁からは、地方財源の確保という話は出てきませんが、その点からも全体のバランスが取れた、しっかりとした体系を取ってもらいたいと思います。

今やっておかないと、どんどん坂道を転げ落ちるようになってしまうというのが人口減少問題の怖いところであり、その点で我々は少子化非常事態宣言を出したわけですので、これからもしっかりと訴えていきたいと思います。

(記者)

内閣改造で分権担当が総務大臣兼ではなくて、石破大臣のほうに移ったが、その辺については、どういう受け止めをしているか。

(山田全国知事会長)

電波受信の問題や行政管理の問題などもあり、総務大臣も非常にお忙しいですから、基本的には、総務大臣と創生担当大臣の協力関係のもとでやっていただければありがたいです。

(記者)

オリンピックの話でもあるんですが、この間、知事会議でも話のあった、ラグビーのワールドカップですね。あれは確か立候補の締め切りが10月末と、間近に迫っていると思いますけれども、知事会として情報提供とか、協力推進のようなことは考えているか。

**(山田全国知事会会長)**

その話は、今日は出ていませんでした。

オリンピックの方は、例えばロンドンオリンピックではカルチュラル・オリンピアドとして、4年前からすごい数の文化事業をイギリス全土で実施しました。そうした点では、オリンピックというのは、全国的なイベントになっていきますし。文化もスポーツも合わせての非常に総合的なものになってきます。関西では、2021年にはワールド・マスターズ・ゲームズも実施しますので、本当にスポーツ全体を通して、国全体の振興になるように知事会として目配りしていきますが、当面はオリンピックが大きいので、それに焦点を合わせていきます。

**(記者)**

先日、内閣府の提案募集の件で、各省庁の一次回答が出て、非常に回答数の割合が悪かったと思うが、これについての受け止めは。

**(山田全国知事会会長)**

地方創生という大きな組織と枠組みができて、理念もできたわけですので、いわゆる特区とか提案とか言っているものだけではなく、かなり構造的に物事を変えていかなければならないとは思っておりますし、それをこれから総理や大臣にもお伝えしていきたいと思っています。

**(記者)**

概算要求の件で先ほど少し指摘があったが、各省ばらばらに出していると。特に何か問題視しているというようなものは。

**(山田全国知事会会長)**

創生本部ができていなかったということもありますが、今回の場合は、重点は全部事項要求でやっているようなところがあり、表に出てきていないところもありますので、ここからのまとめ方というのが大事になってくると思います。できれば石破大臣や高市大臣と「国と地方の協議の場」などで議論をしていきたいと思っています。

以上